

質問項目

1、国の保育所における保育士配置基準についてどのようにお考えですか？

0歳児（子ども3人に保育士1人） 1・2歳児（子ども6人に保育士1人）

3歳児（子ども20人の保育士1人） 4・5歳児（子ども30人に保育士1人）

トークライブや地域の演説会などで保育士さんから聞かれる声は「今の配置基準では子どもの命は守れない」「もっとゆったり子どもたちに接してあげたい」と切実な願いです。1歳児はハイハイしている子、立って歩きだす子というように一人ひとり発達に違いがあると聞いているので、

私が大阪府知事になったらまず、1歳児の配置基準を5対1にし、みなさんに意見を聴きながらさらに基準に引き上げていきたいと考えています。

2、保育士の処遇改善が緊急の課題となっていますが、どのようにお考えですか？

保育士の処遇改善も緊急の課題だと考えています。大阪府では以前、「公私間格差是正補助金」という大阪府独自に民間保育園に対して人件費補助を行っていたので、

その時の経験を生かして私が知事になったら、「処遇改善」を行います。

そして「大阪で保育士をしたい」という人が増えるように施策をすすめます。

3、大阪では公立保育施設の民営化や統廃合で他県に比べ公立保育施設の設置率が低くなっています。

この状況をどのようにお考えですか？

公立保育施設は地域の保育水準のスタンダードであり、公として子どもが育つことに責任を持つ施設だと思っています。まず、今ある公立保育施設を残していきます。

そのために大阪府にできることをみなさんの意見を聞きながら進めていきたいと思っています。民間保育施設と連携、応援するためにも公立保育施設を充実していきます。